



熊谷次郎直実の像（熊谷駅前）

第108号

発行所

埼玉県熊谷市須賀広784番地
一般社団法人 埼玉県畜産会
〒360-0102
TEL 048-536-5281
FAX 048-539-1011

発行人

根岸 信一郎

印刷所

ポプラ社印刷株式会社
深谷市人見242-3
TEL 048(572)9415



目次

1 一般社団法人埼玉県畜産会 第66回通常総会開催される	2
2 令和3年度 主要事業の概要	3
3 令和2年度 主要事業の実施概要	7
4 埼玉県からのお知らせ	
(1) 令和3年度新規事業の紹介 (繁殖雌牛レベルアップ事業、スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業) (畜産安全課)	11
(2) 「彩の国地鶏タマシヤモ」をリニューアル！ (農業技術研究センター)	12
5 イベント・行事予定	13
(1) 第56回埼玉県乳牛共進会等について (埼玉県酪農協会)	
(2) 埼玉県養豚協会豚枝肉共進会について (埼玉県養豚協会)	
(3) 埼玉県はちみつ品評会、即売会について (埼玉県養蜂協会)	
(4) 家畜防疫演習について	
(5) 畜産物消費促進活動について	
6 埼玉県畜産関係幹部職員名簿	14
7 一般社団法人埼玉県畜産会 役員名簿	15
8 (一社) 埼玉県畜産会事務分掌表	16
9 浦和競馬	
I 令和3年度(2021年度)南関東地方競馬開催日割	17
II 浦和競馬へ行こう!	裏表紙

一般社団法人埼玉県畜産会 第66回通常総会開催される

令和3年6月1日、午後1時30分からホテルヘリテイジ（熊谷市）において、当会の第66回通常総会が来賓並びに会員の出席のもとに開催されましたので概要を報告します。

今回の総会につきましては、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、感染拡大防止対策を講じた上での開催となり、出席者も最小限の人数として開催しました。

福田和明副会長の開会、根岸信一郎会長の挨拶の後、埼玉県農林部畜産安全課野澤裕子課長から来賓のご挨拶を賜りました。

議長には、根岸会長が選任され、議事録署名人に高田茂埼玉県酪農協会長及び植井敏夫埼玉県肉用牛経営者協会長を選任、書記には本会の鈴木総務部主幹を任命し、議事に入りました。

まず、令和2年度の事業について報告後、以下の議案を審議しました。

第1号議案 令和2年度収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 令和3年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第3号議案 令和3年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第4号議案 令和3年度役員報酬額の承認について

第5号議案 欠員に伴う理事の選任について

第6号議案 一般社団法人埼玉県畜産会役員の報酬等に関する規程の制定の承認について

各議案とも原案どおり可決承認されました。なお、第5号議案では埼玉県養鶏協会長の交代があったことから埼玉県養鶏協会長の嶋田浄氏が当会理事に選任されました。

議長は、総会での審議が無事終了したこと、かつ協力をいただいたことに謝辞を述べ降壇しました。最後に閉会に当たり、高橋三男副会長より、総会の無事終了の謝辞並びに引き続き本会運営への協力依頼があり、総会は終了となりました。

畜産会の新役員名簿は後掲されておりますのでご覧ください。



開 会（福田副会長）



会長挨拶（根岸会長）



来賓祝辞（野澤畜産安全課長）



閉 会（高橋副会長）

令和 3 年度 主要事業の概要

令和 3 年 3 月 10 日開催の本会の役員会（書面議決）において令和 3 年度事業計画を決定しました。パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症は、終息の見通しが立たず、世界的に経済全体が落ち込んでいる中、畜産業界においても畜産物消費の落ち込みを受け、経営難に苦しんでいます。

このような中、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援事業も継続されています。本会としても畜産経営安定のため関連対策事業を実施し、役職員一丸となって畜産振興に努めてまいります。

体系別事業計画

1 経営支援対策

(1) 生産技術向上対策

畜産経営の安定及び生産性の向上を図るために、経営診断支援指導を実施するとともに、畜産環境整備対策などを行う。

畜産経営技術指導事業	畜産経営技術支援指導研究会の開催・畜産農家の経営診断指導・経営セミナーの開催等 牛群の能力向上及び生産性向上指導・検定推進指導	県 地方競馬全国協会
経営革新指導事業	クラスター協議会・対象農家の支援・指導	県
繁殖雌牛レベルアップ事業	県内の黒毛繁殖雌牛の資質向上を図る繁殖雌牛ゲノム検査の実施及び受精卵採取	県
高糖度飼料用稲実証展示事業	飼料自給率向上を図るため、既存技術が活用できる高糖度飼料用稲の実証展示と飼料分析	県
畜産酪農生産力強化緊急対策事業 埼玉県酪農生産力強化対策協議会 (酪農クラスター)	酪農経営における性判別技術を活用した優良な乳用後継牛の確保	中央酪農会議
畜産クラスター事業	クラスター事業（機械導入・リース事業）の円滑な推進を図り、要望等の取りまとめを行う。	中央畜産会
畜産 ICT 事業・楽酪 GO 事業	酪農・肉用牛家の労力軽減のための施設・機械導入の補助	中央畜産会
肉用牛経営安定対策補完事業	肉用牛経営の担い手となる後継者を中心に肉用繁殖雌牛の増頭支援を行う。	農畜産業振興機構
生産基盤拡大加速化事業	畜産クラスター計画作成の肉用牛経営体を中心に肉用繁殖雌牛の増頭支援金を交付する。	全国肉用牛振興基金協会
畜産環境整備機械貸付事業	糞尿処理機械・施設等の貸付事業	県・畜産環境整備機構

(2) 経営安定対策

肉用子牛・肉用牛・肥育肉豚等の価格補てん事業やその他の関連助成対策事業を実施し経営の安定を図る。

肉用牛肥育経営安定 交付金制度	肉用牛経営安定のために、基金を設け肉用牛肥育経営の収益性が低下した場合補てん金を交付する。	農畜産業振興機構
肉用子牛生産者補給金制度 運営適正化事業	肉用子牛の市場価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に補給金を交付する。	農畜産業振興機構
養豚経営安定対策事業	養豚経営安定対策事業の説明会の開催等を行う。	農畜産業振興機構
鶏卵生産者経営安定対策事業	日本養鶏協会で実施する鶏卵価格補てん事業及び成鶏更新・空舎延長事業の実施に当たっての農家の事務代行等を行う。	日本養鶏協会

(3) 家畜改良対策

家畜改良の増進を図るため、家畜登録事業（乳牛・和牛・豚）を実施するとともに、牛凍結精液や受精卵の配布等を行う。

家畜登録事業	乳牛・和牛・種豚の登録を行い、能力資質の向上を図る。	日ホ・全和・日豚
牛凍結精液配布事業	計画 10,000本の配布	家畜改良事業団他

2 安心・安全畜産物の提供**(1) 家畜防疫体制確保対策**

安全・安心の畜産物を生産・提供するための家畜疾病防疫対策や家畜衛生指導等を行う。

また、万一の悪性伝染病等の万一発生に備えての互助基金対策等も実施する。

牛疾病検査円滑化推進対策事業	死亡牛の収集、輸送及び処理、BSE検査の円滑な実施を推進	国
家畜生産農場衛生対策事業	ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫の発生・流行防止、BVD対策、農場飼養衛生管理強化対策	国
家畜防疫互助基金造成等支援事業	口蹄疫、豚熱等の海外悪性伝染病の発生に備え、互助補償を行う体制を整備し、経営再開を支援	中央畜産会
馬飼養衛生管理特別対策事業	馬の飼養者、関係団体を組織化し自衛防疫体制を確立	中央畜産会
家畜防疫・衛生指導対策事業	防疫体制の強化、発生予防、防疫演習の実施	中央畜産会

(2) 消費者信頼確保対策

県内畜産物の安心安全をPRするとともに販路開拓などを実施し、また農業イベント・畜産イベントに積極的に参加し畜産物の消費拡大を図る。

畜産関係団体調整機能強化事業	畜産関係団体連絡調整・畜産女性ネットワークの会等を通して畜産物の消費拡大を図る。	中央畜産会
浦和競馬支援畜産振興事業	来場者に県内畜産物のファンサービス等を行う。	浦和競馬組合
畜産物消費拡大事業	彩の国畜産物の販売促進や安心安全のためのシール発行等を行い販売・消費拡大を図る。	独自

3 その他畜産振興に寄与する取り組み**(1) 生産者等支援対策**

県内の畜産経営体維持存続のため、様々な課題の相談の窓口となり、生産者への支援に努める。

(2) 畜産関係団体の事務受託

本会内に事務局を置く畜産関係任意団体（12団体）の活動を支援し、県内畜産の振興に努める。

4 令和3年度の新型コロナウイルス関連緊急支援対策事業

肥育牛経営等緊急支援特別対策事業	牛枝肉価格低下により経営悪化が懸念される畜産農家に出荷頭数に応じて交付金を交付する。	中央畜産会
------------------	--	-------

令和2年度 主要事業の実施概要

関係者各位のご支援、ご協力のもと、下記の通りの事業成果を上げる事ができましたので、主要事業の報告を致します。

1 経営支援対策

(1) 生産技術向上対策

○畜産経営技術指導事業（県）

畜産経営体の維持・安定を図るために、生産技術・財務管理などについて助言支援を行い経営の向上を図った。

<経営診断指導実績>

指導内容	実績					備考
	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	合計	
経営診断に基づく改善指導	2	2	1	0	5	
経営管理技術指導	15	2	0	0	17	
生産技術指導	21	2	0	0	23	
フォローアップ指導	2	2	1	0	5	
合計	40	8	2	0	50	

(2) 経営安定対策

肉用子牛・肉用牛事業やその他の関連助成対策事業を実施し経営の安定を図った。

○肉用牛肥育経営安定交付金制度（農畜産業振興機構）

ア 補填金交付契約者件数（令和3年4月1日現在）：55件

イ 積立金管理状況

（令和3年3月31日現在）（単位：頭、円）

種別	年度当初残高	負担金造成額	負担金交付額	年度末残高
肉専用種	43,461,341	119,404,833	133,812,174	29,054,000
交雑種	45,408,501	10,626,807	42,963,454	13,071,854
乳用種	34,504,858	11,584,173	22,193,635	23,895,396
計	123,374,700	141,615,813	198,969,263	66,021,250

ウ 交付金交付実績

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）

（単位：頭、円）

区分	延べ交付人数	交付頭数	交付金交付総額	平均交付金単価
肉専用種	162	3,058	477,545,995	156,162
交雑種	164	1,252	155,475,964	124,182
乳用種	65	1,733	74,300,344	42,873
計	391	6,043	707,322,303	117,048

○肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（中央畜産会・新規）

肥育農家が優良な肥育牛生産等のために経営体質の強化に取り組み、肥育牛の販売頭数に応じて奨励金を交付した。

- ア 事業参加数 70 件（マルキン農家 52 件、マルキン未加入農家 18 件）
 イ 奨励金交付頭数 6,182 頭（マルキン加入牛 6,072 頭、マルキン未加入牛 110 頭）
 ウ 奨励金交付金額 123,640,000 円（マルキン加入牛 121,440,000 円、マルキン未加入牛 2,200,000 円）

○肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

ア 個体登録頭数及び生産者積立金造成額

令和 2 年度（令和 2 年 1 月～令和 2 年 12 月）

（単位：頭、円）

品 種 区 分	登録頭数	積立金単価	積立金額	負 担 内 訳		
				機 構	県	生産者
黒 毛 和 種	17	1,200	20,400	10,200	5,100	5,100
	78	1,600	124,800	62,400	31,200	31,200
褐 毛 和 種	0	4,600	0	0	0	0
	0	6,000	0	0	0	0
そ の 他 肉 専	0	12,400	0	0	0	0
	1	18,800	18,800	9,400	4,700	4,700
乳 用 種	53	6,400	339,200	169,600	84,800	84,800
	111	6,800	754,800	377,400	188,700	188,700
乳 用 交 雑 種	179	2,400	429,600	214,800	107,400	107,400
	523	3,200	1,673,600	836,800	418,400	418,400
計	962	—	3,361,200	1,680,600	840,300	840,300

イ 補給金交付頭数及び補給金総額

令和 2 年度（令和 2 年 1 月～令和 2 年 12 月）

（単位：頭、円）

区 分	交付頭数	補給金単価	補給交付金額
黒 毛 和 種	0	0	0
褐 毛 和 種	0	0	0
その他肉専用種	0	0	0
乳 用 種	0	0	0
乳 用 交 雑 種	0	0	0
計	0	0	0

※ 令和 2 年度（令和 2 年 1 月～令和 2 年 12 月）においては、子牛価格が高値で推移したため、生産者補給金の発動には至らなかった。

(3) 家畜改良対策

○家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

家畜改良増殖法に基づき、登録3団体の委託団体として登録業務を推進し、優良種畜を確保することで、生産効率の向上を図った。

<家畜登録実績>

(単位：件・%)

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	330	320	97.0	種豚登録	100	100	100.0	子牛登記	1,000	1,483	148.3
移動証明	30	6	20.0	繁殖産子産肉	40	0	0	基本登録	150	300	200.0
牛群審査	80	70	81.2	子豚登記	170	110	64.7	移 動	30	27	90.0
体型調査	60	70	116.7	子・種移動	40	9	22.5	遺伝子型他	320	374	116.9
検定証明	300	454	151.3	そ の 他	20	143	715.0	そ の 他	—	33	—
そ の 他	0	18	-	黒豚証明他	130	81	62.3				
計	800	938	117.3	計	500	443	88.6	計	1,500	2,217	147.8

○牛凍結精液配布事業

乳牛及び和牛の改良を促進するため、窓口団体として凍結精液等の販売を行った。

区 分		前年実績	本年実績	対前年比
(一社)家畜改良事業団	乳牛(一般)	157	30	19.1
	乳牛(性判別♀)	557	472	84.7
	和 牛	6,113	4,732	77.4
ジェネティクス北海道	乳牛(一般)	534	562	105.2
	乳牛(性判別♀)	907	1,088	120.0
	和 牛	541	1,701	314.4
十勝家畜人工授精所	乳牛(一般)	277	155	56.0
	乳牛(性判別♀)	39	100	256.4
	和 牛	294	280	95.2
輸入精液・その他	乳 牛	564	670	144.0
他県・その他授精所	和 牛	988	853	86.3
合 計		10,971	10,643	97.0

2 安心・安全畜産物の提供**○家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）**

ヨーネ病、EBL（牛白血病）、BVD-MD（牛ウイルス性下痢）の発生、流行防止対策等を推進し、家畜の損耗防止を図った。また、生産者による飼養衛生管理の向上に努めた。

ア ヨーネ病対策

ヨーネ病まん延防止等のための自主とう汰等を推進した。

イ EBL 対策

EBLの検査等を推進した。

(ア) EBL 検査	検査頭数	1,134 頭
(イ) 吸血昆虫の忌避・駆除対策	対象農家	2 戸
(ウ) 高度感染牛の自主淘汰	淘汰頭数	4 頭

ウ BVD－MD 対策

BVD-MD の検査等を推進した。

(ア) BVD-MD 検査	検査頭数	158 頭
(イ) PI 牛の自主淘汰	淘汰頭数	3 頭

エ 農場飼養衛生管理強化対策

飼養衛生管理基準に基づき、獣医師等による衛生指導を実施した。

(ア) 指導農家	15 戸
----------	------

○牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

BSEを早期に根絶し、生産者や消費者の安心と信頼を回復するために、死亡牛の円滑かつ適正な処理体制の確保と、その検査を推進した。

ア 協議会の開催 1 回

イ 死亡牛輸送・処理費の補助

(ア) 対象死亡牛頭数	通常死亡牛（96 ヶ月齢以上）	80 頭
	48～96 ヶ月齢未満の起立不能牛で BSE 検査を行った牛	68 頭
(イ) 補助金額	輸送費補助： 518,000 円	
	処理費補助： 45,000 円	合計 563,000 円

○家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構）

口蹄疫、豚熱等の海外悪性伝染病の発生に備えて、互助基金の加入促進を実施した。

また、令和3年度からの次期対策期間における事前申込を行った。

令和2年度生産者積立金状況

（単位：頭、円）

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額
養豚	38	73,565	12,132,900
乳用牛・肉用牛	155	20,561	2,822,765

*（平成30年～令和2年の3年間の合計）

○馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会）

馬飼養衛生管理体制の総合的な整備を図り、効果的な馬防疫を推進し、多様な飼養目的、飼養形態下にある馬衛生の向上に資するため、馬飼養衛生管理体制整備委員会・技術講習会の開催、地域馬獣医療実態調査を実施した。

ア 委員会の開催 1 回

イ 技術講習会の開催 1 回 演題：「日常遭遇する馬の疾病とその対処法」

ウ 地域馬獣医療実態調査数 98 件

○馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会）

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を図ることにより、発生リスク等の低減、清浄化を図った。

ア 馬インフルエンザワクチン接種

(ア) 接種頭数 266 頭

(イ) 補助金額 492,100 円

○家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会）

生産現場における家畜防疫体制の強化を図るため、伝染性疾病発生時の防疫対応を支援す
疫演習等を行った。また、輸入馬における馬伝染性貧血検査を推進した。

ア 防疫演習

(ア) 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習 119名参加 伊奈町 令和2年10月29日

(イ) アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演習

48名参加 熊谷市 令和2年11月12日

イ 馬伝染性貧血検査 検査頭数1頭

3 消費者信頼確保

○畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会）

組織の活性化を推進するため、畜産団体の支援を図るとともに、浦和競馬場において支援活動行い、
地方競馬の発展を支援した。

ア 仲間づくり 1回

イ 浦和競馬支援 4回

○畜産女性経営者育成強化事業（中央畜産会）

畜産経営の中核的な役割への女性参画の拡大及び女性の地位向上を目指し、女性自身の経営者能力の
向上等を図った。

ア 畜産女性 WEB 研修会 2回 令和2年10月22日 熊谷市 ホテルヘリテイジ

令和2年12月18日 熊谷市 ホテルヘリテイジ

○畜産振興事業（県浦和競馬組合）

浦和競馬支援のため、競馬組合のHPで県畜産物のファンサービス活性化対策や広報誌による宣伝活
動を行った。

○畜産物消費拡大事業（会独自事業）

彩の国畜産物の販売促進やブランド畜産物産地証明書を発行し、県内畜産物の消費拡大を図った。

また、彩の国食と農林業ドリームフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
中止となった。

○馬事畜産振興推進事業（馬事畜産振興協議会）

埼玉県馬事畜産振興協議会を開催するとともに、令和2年11月浦和競馬において、冠レースを開催
した。

○畜産振興諸活動（会独自事業）

関係機関の審議会、協議会等に本会の役員が委員、役員等として就任し本県畜産の振興に寄与した。

また、本会広報誌「畜産埼玉」を2回/年発行し、会員及び関係機関に配布した。

4 畜産関係団体の事務受託

本会業務に関連のある団体の事務局を受託し、各団体の事業計画に基づき、諸事業の円滑な推進に努めた。

- (1) 埼玉県酪農協会 …………… 会員：団体 12、個人 68、賛助 16
全酪新報の配布、その他
- (2) 埼玉県肉用牛経営者協会 …………… 会員：団体 6、個人 48、賛助 6
生産基盤拡大加速化事業（埼玉県肉用牛経営クラス協議会）、その他
- (3) 埼玉県養豚協会 …………… 会員：団体 7、個人 48、賛助 24
肉豚経営安定対策事業、CSF対策、その他（JPPA業務）
- (4) 埼玉県養鶏協会 …………… 会員：団体 9、個人 17、賛助 42
鶏卵消費拡大イベント実行委員会、研修会にかわる情報提供として卵ハンドブックを配布、その他
- (5) 埼玉県養蜂協会 …………… 会員：個人 125
養蜂資料配布、養蜂物資斡旋取次、その他
- (6) 埼玉県畜産技術振興会…………… 会員：団体 11、個人 127（繁殖部会 127）
受託事業、改良増殖事業、技術発表全国大会 WEB の参加、その他
- (7) 埼玉県畜産懇話会 …………… 会員：団体 20
畜産情勢の情報交換、畜産施策の要請、その他
- (8) 畜産女性いきいきネットワーク埼玉 …………… 会員：個人 22、団体 5
WEB 研修、情報交換、後継者育成支援、その他
- (9) 埼玉県牛群検定組合…………… 会員：個人 20
ゲノム検査事業、その他
- (10) 埼玉県粗飼料利用研究会…………… 会員：個人 65、団体 9、賛助 8
会報「ふぉーれーじ」の発行
- (11) 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会…………… 会員：個人 40、団体 2
牧場預託牛の事故等に対し補助金の交付、衛生対策の実施
- (12) 埼玉県CSF感染拡大防止対策協議会…………… 県 11 市町村 24 民間団体 4
野生イノシシにおけるCSFウイルス拡散防止を図るための、経口ワクチン散布・回収及び浸潤状況

令和3年度新規事業の紹介

畜産安全課畜産振興担当

当課では、今年度から肉用牛及び養鶏振興のために、新規事業に取り組んでいますので、その概要をお知らせします。

1 繁殖雌牛レベルアップ事業

(1) 目的

平成30年度から令和2年度にかけて前身事業である繁殖雌牛ゲノミック評価推進事業で、750頭の繁殖雌牛の枝肉6形質のゲノミック評価を実施したところ、県内には資質の高い牛がいることが分かりました。そこで、ゲノミック評価という先端技術を活用し、「食べて美味しい、病気に強い牛」を選抜、増頭することにより、県全体の和牛レベルの底上げを図ります。

(2) 事業概要

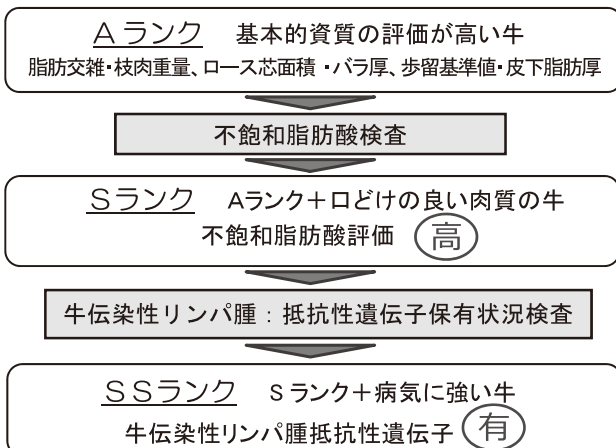
ゲノミック評価による肉の旨みに関係する不飽和脂肪酸の割合と、経済的損失が大きく、感染拡大が問題になっている牛伝染性リンパ腫の抵抗性遺伝子の保有状況を調査します。そして、枝肉6形質、不飽和脂肪酸、牛伝染性リンパ腫の3つの観点から優良な繁殖雌牛を選抜し、県秩父高原牧場で増頭、県内畜産農家に普及します。

- ・事業実施期間：令和3～7年
- ・令和3年度予算額：4,698千円

※ゲノミック評価

ゲノミック評価とは、「ゲノム」（生物の持つ全遺伝子）情報を活用して牛の遺伝的能力を推定する値（評価する技術）のこと。

【選抜スキーム】



2 スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業

(1) 目的

県内養鶏農家の8割は鶏卵を直接販売しており、収益性の向上を図るためには、特色のある採卵鶏の開発が必要です。そこで、「彩の国地鶏タマシャモ」の原種（以下「タマシャモ」という。）をベースに本県オリジナルの卵肉兼用地鶏を開発します。シャモの卵は高級品として通常の鶏卵よりも高値で取引されており、また、成鶏肉としての活用も可能なことから、養鶏農家の所得向上が期待されます。

(2) 事業概要

県農業技術研究センターにて、タマシャモをベースに、産卵性や卵・肉の食味性、採卵鶏用ケージで飼育可能とするための体格等を指標として、交配する品種の検討と試験的生産を行い、生産した個体を評価することを繰り返し、1羽で2度美味しい卵肉兼用地鶏を開発します。あわせて、卵肉兼用地鶏や生産された卵・肉の供給販売方法について関係者で検討し、効果的・戦略的にその普及を図っていきます。

また、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病発生時のリスクを回避するために、タマシャモを県内3か所の農業高校で分散飼育することも、本事業の中で引き続き行っていきます。

- ・事業実施期間：令和3～7年
- ・令和3年度予算額：7,317千円

【育種改良】

- ・高産卵性鶏とタマシャモを交配



高産卵性鶏

タマシャモ

交配

選抜 ↓ 改良

〈選抜指標〉
産卵性、食味性など

卵肉いいとこどり 完成

【問い合わせ先】

畜産安全課 畜産振興担当

電話：048-830-4193

「彩の国地鶏タマシャモ」 をリニューアル！

農業技術研究センター
養豚・養鶏担当

本県のブランド地鶏「彩の国地鶏タマシャモ」は、胸の厚い大和軍鶏、産卵性の優れたニューハンプシャー、大型で肉質の優れた大シャモを使用して交配を重ね、1984年に原種が作出されました。肥育用のコマーシャル（CM）鶏は、このタマシャモ原種にロードアイランドレッド（ロード）を交配し、その交配鶏（種鶏）にタマシャモ原種を交配したものです。1991年から生産が始まり、県内および東京都内の飲食店やホテルなどで利用されています。しかし、150日以上 の長期間飼育していることから、食感やうま味が増す反面、飼育コストがかかるため、高価格になることや、作出から30年以上が経過し、原種の近交化の進行が課題となっていました。そこで、2015年度から「彩の国地鶏タマシャモ」の改良（血統更新）に取り組みました。

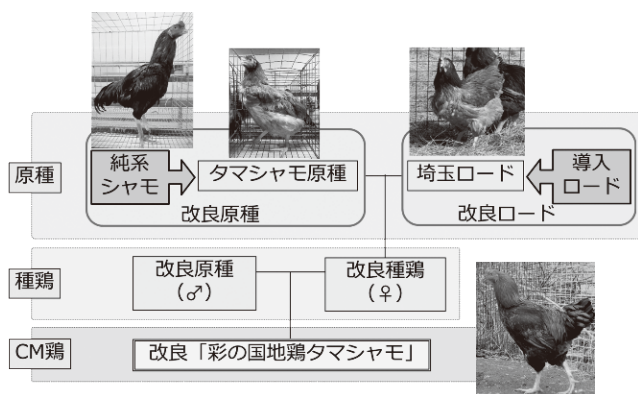


図1 改良タマシャモの交配図

タマシャモ原種の近交回避と体格の改良のため、家畜改良センターから増体性や肉質に優れた純系シャモを導入し、交配しました。また、種鶏の生産に使用しているロードは、埼玉ロードとして当所で長年維持してきたもので、近交化により産卵率の低下がみられるようになりました。そこで、家畜改良センターから産卵性に優れたロードの系統を導入し、埼玉ロードに交配しました（図1）。

これらの交配の結果、種鶏の産卵率、受精率およびふ化率が向上し、CM鶏ヒナの生産性が改良前の約

1.6倍に向上するとともに、原種の体格（体重）も改良前の同日齢に比べ約15%向上しました（図2）。



図2 完成した改良原種（雄）180日齢

平飼いにおける改良CM鶏の飼育試験では、140日齢で雄の平均体重は4,000gを超え、雌もほぼ3,000g近くになりました。

鶏肉のうま味に關係する脂肪酸の一種であるアラキドン酸のモモ肉中の含量は、150日齢の改良CM鶏で、市販若鶏の約1.5倍にもなり、加齢による増加はなく、180日齢でもほぼ変わりませんでした。また、食味評価においても150日齢の改良CM鶏は180日齢と遜色なく、増体成績も考慮すると、改良鶏は従来鶏より短期間で出荷可能と考えられました。

現在、改良原種の系統数を増やしており、2022年度には全面的に改良CM鶏に切り替える予定です。また、ブランド保護のため、「タマシャモ」を商標登録しました。

リニューアルした「彩の国地鶏タマシャモ」は増体性に優れ、さらに良食味となりました。今後は、飼育期間短縮によるコスト低減などを推進し、さらなる普及と需要の拡大を目指します。



【問い合わせ先】

農業技術研究センター

養豚・養鶏担当

電話：048-536-0440

イベント・行事予定

1 第56回埼玉県乳牛共進会等について

6月18日の第1回役員会で協議した結果、新型コロナウイルス感染症の先行判断が難しい中11月に開催する計画としますが、状況に応じて3月の開催も視野に判断することとしました。

また、酪農協会主催の婦人の集い・後継者の集いも新型コロナウイルス感染症の状況に応じた開催となります。

酪農協会では酪農に功労のあった方を表彰しており、前一般社団法人埼玉県乳業協会長嶋崎孝司氏が特別功労者表彰を受けられました。



【特別功労者表彰】

2 埼玉県養豚協会豚枝肉共進会について

令和3年11月5日開催予定の埼玉県養豚協会豚枝肉共進会については、実施する計画としておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて開催を判断することとしております。

当協会といたしましては、引き続き協会の目的達成のために、養豚振興活動を実施する予定です。



【枝肉審査】

3 埼玉県はちみつ品評会、即売会について

埼玉県はちみつ品評会及び即売会については、新型コロナウイルス感染症の終息のめどが立たないことから、中止になりました。

当協会といたしましては、引き続き協会の目的達成のために、養蜂振興活動を実施する予定です。

4 家畜防疫演習について

埼玉県との共催により次のとおり計画中です。

日時 令和3年10月28日(木)

場所 埼玉県県民活動総合センター

5 畜産物消費促進活動について

畜産会、各団体が参加していた「2021彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(おいしさいっぱい畜産フェア)同時開催)については中止になりました。

埼玉県畜産関係幹部職員名簿

(令和 3 年 4 月 1 日現在)

農 林 部

部 長 強 瀬 道 男
副 部 長 唐 橋 竜 一
副 部 長 横 塚 正 一

養豚・養鶏担当 (Tel 048-536-0440)

担当部長 福 田 昌 治
担当部長 中 村 嘉 之

食 品 安 全 局

局 長 吉 永 光 宏

農業革新支援担当

部 長 佐 竹 吉 人

畜 産 安 全 課 (Tel 048-830-4170)

課 長 野 澤 裕 子
家畜衛生幹 加 藤 幸 彦
副 課 長 田 中 誠
主 幹 吉 田 徹
主 幹 伊 藤 麗 子
主 幹 清 水 博 之
主 幹 高 桑 郁 子

農 業 大 学 校 (Tel 048-536-6845)

校 長 佐 藤 正 行
教務主幹 関 根 貴 司

さいたま農林振興センター (Tel 048-822-2492)

所 長 福 島 恵 美 子

川越農林振興センター (Tel 049-242-1808)

所 長 小 畑 幹

中央家畜保健衛生所 (Tel 048-663-3071)

所 長 丸 山 盛 司
副 所 長 加 島 恭 美
担当部長 木 下 明 子
担当部長 多 勢 景 人
担当部長 武 末 寛 子

東松山農林振興センター (Tel 0493-23-8532)

所 長 黒 沢 史 郎

秩父農林振興センター (Tel 0494-24-7211)

所 長 荒 木 恭 志

川越家畜保健衛生所 (Tel 049-225-4141)

所 長 堀 井 菜 摘 子
副 所 長 馬 場 未 帆
担当部長 御 村 宗 人
担当部長 吉 田 輝 美
担当部長 宮 本 賢 一

本庄農林振興センター (Tel 0495-22-6156)

所 長 川 岸 正 人

大里農林振興センター (Tel 048-523-2812)

所 長 山 岸 典 夫

熊谷家畜保健衛生所 (Tel 048-521-1274)

所 長 黒 田 浩 之
副 所 長 渡 辺 志 保
担当部長 山 品 恒 郎
担当部長 塩 入 陽 介
担当部長 中 島 敏 行
担当部長 田 口 清 明

加須農林振興センター (Tel 0480-62-4771)

所 長 横 田 二 也

春日部農林振興センター (Tel 048-737-2134)

所 長 林 淳 一

秩 父 高 原 牧 場 (Tel 0494-65-0311)

場 長 斉 藤 任 亮
担当部長 亀 田 光 澄

浦 和 競 馬 組 合 (Tel 048-881-1792)

副管理者兼事務局長 渡 辺 充 裕
業務課長 原 裕
主幹 益 岡 奈 津 樹
野田管理事務所長 窪 田 美 佳
主幹 山 本 信 義

農業技術研究センター (Tel 048-536-0311)

所 長 片 貝 充

酪農、養豚・養鶏担当

室 長 田 中 美 貴

酪農担当 (Tel 048-536-0440)

担当部長 高 田 新 一 郎

・各所属とも主幹級以上を、また、農業技術研究センター、農業大学校、各農林振興センターにあっては所属長及び畜産担当職員、又は獣医師を、埼玉県浦和競馬組合にあっては副管理者及び獣医師の方々を掲載させていただきました。

一般社団法人 埼玉県畜産会 役員名簿

(令和3年6月1日現在)

職 名	出 身 団 体 ・ 職 名	氏 名
会 長	全国農業協同組合連合会埼玉県本部運営委員会副会長	根 岸 信一郎
副 会 長	埼玉県農業共済組合副組合長理事	福 田 和 明
副 会 長	(公社) 埼玉県獣医師会会長	高 橋 三 男
理 事	埼玉県農業協同組合中央会専務理事	小 池 和 明
理 事	(一社) 埼玉県配合飼料価格安定基金協会理事長	松 本 邦 義
理 事	市長会(熊谷市長)	富 岡 清
理 事	町村会(神川町長)	山 崎 正 弘
理 事	埼玉県調教師会顧問	野 口 孝
理 事	埼玉県酪農協会会長	高 田 茂
理 事	埼玉県肉用牛経営者協会会長	植 井 敏 夫
理 事	埼玉県養豚協会会長	上 原 章 男
理 事	埼玉県養鶏協会会長	嶋 田 淨
専 務 理 事	学識経験者	岩 田 信 之
常 務 理 事	学識経験者	藤 野 重 治
監 事	埼玉県信用農業協同組合連合会常務理事	島 寄 進
監 事	さいたま食肉市場(株)代表取締役	金 子 健 司

任期：令和2年6月～令和4年通常総会まで

(一社) 埼玉県畜産会事務分掌表

令和 3 年 4 月 1 日 現在

	職・氏名	分 掌 事 務
常勤役員	専務理事 岩田 信之	会務運営統括, 会報発行, 畜産関係団体調整機能強化事業, 農林公社, 農業共済組合, 農業会議, 農薬危害防止推進協議会, 農場管理獣医師会, 彩の国ふれあい牧場連絡協議会, ドリームフェスタ実行委員会 CSF感染拡大防止協議会 (連絡調整) 団体事務局 (埼玉県畜産懇話会, 埼玉県粗飼料利用研究会, 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会) 団体指導 (担当団体: 酪農協会, 養豚協会, 養蜂協会, 肉用牛経営者協会)
	常務理事兼事務局長 藤野 重治 (総括畜産コンサルタント)	事務局統括, 各部との調整, 総務・財務・経理等の総括, ドリームフェスタ総括, 経営診断業務 (全般) 団体運営費補助事務, 畜産振興補助事業(副), 畜産 ICT 事業・楽酪 GO 事業 (正), 凍結精液配布業務, 経営診断業務 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務 (副) 団体指導 (担当団体: 畜産女性いきいきネットワーク埼玉, 畜産技術振興会, 養鶏協会)
総務部	常務理事兼事務局長 藤野 重治 (総括畜産コンサルタント)	総務部総括責任者
	主幹 鈴木 智子	経理事務 (正), 給与事務, 福利厚生事務 (正), 会務全般事務 (正), 畜産振興補助事業 (正) CSF 感染拡大防止協議会 (会計事務) 団体事務局 (埼玉県養蜂協会 (副))
	技師 秋庭 美鈴 (畜産コンサルタント)	経理事務 (副), 文書事務 (正), 会務全般事務 (副), 鶏卵安定対策事業 予防接種事業, 家畜生産農場衛生対策事業 (副) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (正), 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (正), 牛群検定事業 (副) 牛凍結精液配布事業 (副), 登録業務 (副), 経営診断業務, 高糖度飼料稲展示圃事業 団体事務局 (畜産女性いきいきネットワーク埼玉事務 (副))
事業推進部	専務理事 岩田 信之	事業推進部総括責任者
	主幹 堀口 静弘 (畜産コンサルタント)	登録業務 (種豚・和牛), 牛凍結精液配布事業, 繁殖雌牛ゲノミック評価推進事業, 畜産経営技術指導事業 肉用牛経営安定対策補完事業, 経営診断業務 (酪農・肉用牛) 畜産環境整備機械貸付事業 (機構) (検収業務等), 養豚経営安定対策事業 畜産近代化リリース事業 (正), 乳牛共進会 (副), 繁殖和牛導入クラスター事業 団体事務局 (埼玉県養豚協会事務 (正), 埼玉県肉用牛経営者協会事務 (正))
	主査 渡辺 美知代	肉用牛肥育経営安定交付金制度業務 (正), 肉用子牛生産者補給金制度業務 (正) 補給金制度運営適正化事業・運営体制支援事業 団体事務局 (埼玉県養鶏協会事務 (正))
	主査 木村 紀美江 (畜産コンサルタント)	牛凍結精液配布事業 (総括), 乳牛登録, 乳牛共進会 (正), 後代検定事業 (事業団・県) 家畜改良推進事業, 牛群検定事業 (正), 畜産経営技術指導事業 (家畜改良推進) 経営診断業務 (酪農), 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業 団体事務局 (埼玉県酪農協会, 埼玉県牛群検定組合, 埼玉県畜産技術振興会 (正))
	主査 松尾 奈緒美	予防接種事業, 家畜生産農場衛生対策事業 (正), 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (副), 家畜防疫互助基金支援事業 馬伝染性疾病防疫推進対策事業, 家畜防疫・衛生指導対策事業 (正), 馬飼養衛生管理特別対策事業 (副) 団体事務局 (畜産女性いきいきネットワーク埼玉事務 (正))
	技師 吉田 英樹 (畜産コンサルタント)	登録業務 (種豚・和牛) (副), 牛凍結精液配布事業 (副), 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務 (副) 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会 (会計), 家畜防疫・衛生指導対策事業 (副), 経営診断業務 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業・ホームページ・会内ネットワーク管理業務 会内事務全般補助
	主事 新井 智貴 (畜産コンサルタント)	肉用子牛生産者補給金制度業務 (副), 畜産クラスター事業 (機械導入) (副) 経営革新指導事業 (副), 畜産 ICT 事業・楽酪 GO 事業 (副), 凍結精液配布業務, 経営診断業務 団体事務局 (埼玉県肉用牛経営者協会 (副))
	専門員 金子 修 (総括畜産コンサルタント)	繁殖和牛導入クラスター事業, 浦和競馬支援事業・広報活動推進事業 馬事畜産振興補助事業, 中央畜産会指導支援実績取り纏め事業関係業務 団体事務局 (埼玉県養蜂協会 (正)・埼玉県養鶏協会 (副))
嘱託 堀越 一男	研修業務 (職場・若手), 畜産クラスター事業 (機械導入) (正), 経営革新指導事業 (正) 任意団体事務局見直業務 (規約等の検討)	
臨時職員	坂田 さゆり	会務事務全般補助, ブランド畜産物産地証明発行事務, 牛群検定事業 (副)

令和3年度（2021年度）南関東地方競馬開催日割

2021	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
8月	JRA							JRA						JRA						JRA								JRA			
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
9月																															
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
10月																															
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
11月																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
12月																															
2022	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1月																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
2月																															
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
3月																															

※JRAの日程は変更の可能性があります。 ← は昼間開催 → は夜間開催 ★印はダートグレード競走 ●印は重賞競走
 ※ご来場の際は、浦和競馬公式ホームページ等で最新の営業情報等をご確認の上ご来場ください。

南関東4競馬場公式サイト

公式サイト（全レース実況・録画中継無料配信）
<http://www.nankankeiba.com/>
 (携帯) <http://www.nankankeiba.com/mobile/>
 ※通信料はお客様の負担となります。



浦和競馬公式サイト

<http://www.urawa-keiba.jp/>
 地方競馬情報サイト
<http://www.keiba.go.jp/>

SPAT4会員募集中! お申し込みは今すぐ!
<http://www.spat4.jp/>
 フリーダイヤル 0120-006-309 (開催日 10:00~17:00 / 非開催日 12:00~21:00)



テレホンサービス
 レース結果 0570-011-555
 実況中継 0180-993-400
 ※PHS・一部の携帯電話からはご利用できません。
 ※おかけ間違いにご注意ください。



浦和競馬



地方競馬全国協会からのご案内
 (馬主になりませんか!)
 「地方競馬の馬主になりたい」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。
 なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬情報サイト (<http://www.keiba.go.jp/>)でもご覧いただけます。
 担当: 審査部登録課 電話: 03-3583-2142

浦和競馬へ行こう！



浦和競馬

さいたま市南区大谷場 1-8-42

TEL048-881-1551

近さが魅力の浦和競馬。
白熱したレースが間近で観戦できます。



埼玉県のマスコット
コバトン



令和元年9月にオープンした2号スタンド。
より快適な競馬観戦にオススメです！！



浦和競馬キャラクター
ウラワール

WINS

ウインズ浦和
(浦和競馬場)

浦和競馬場ではJRAが開催する日曜日・祝日
及びG I開催週の土曜日（代替開催を除く）に
勝馬投票券の発売・払戻を行っています。

【浦和競馬場へのアクセス】

JR浦和駅東口より徒歩15分

JR南浦和駅東口より往復無料バス5分

※ 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場者数等の制限を行いながら営業しております
ので、浦和競馬公式ホームページ等でご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。